

令和7年度事業報告

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 概況

令和8年度税制改正大綱では、税制改正にあたっての基本的考え方として「1.物価高への対応」「2.強い経済の実現に向けた対応」「3.地方の伸びしろの活用・暮らしの安定」「4.公平かつ円滑な納税のための環境整備」「5.自動車関係諸税の総合的な見直し」「6.防衛力強化に係る財源確保のための税制措置」「7.揮発油税等の当分の関税率廃止及びいわゆる教育無償化に係る財源確保」が主要項目として示されました。

また、昨年度は「所得税の基礎控除の引き上げ」「中小企業者等の法人税の軽減税率の特例の見直し」等、税制をめぐる環境においても変動の1年となりました。

法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、取り組まなければならない新たな制度の理解を深めるため、研修会等を実施してまいりました。

さらに、税に対する第一人者として、租税の理解に努め、中小企業の立場から望ましい税務知識の普及・啓蒙、税制・財政のあり方について調査研究を行い、税に関する研修会等を通じ、納税意識の高揚を図ってまいりました。

また、社会貢献活動を通じて、地域の振興に寄与し、未来を担う人材の育成を支援し、税制提言等の活動を通じて、地域の人々が安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいりました。

コロナ禍の影響により、事業や活動を十分に実施できない時期もありましたが、令和7年度は、ほぼ全事業を実施することができました。

2 主な実施事業の概要について

(1) 公益目的に資するための事業

イ 税を巡る諸環境の整備改善等を目的(税の啓発活動)とする事業 (公益目的事業 1)

(イ) 研修相談事業

税務研修会

税知識の習得、我が国の税制の現状、税務・会計処理等について、全法連等の作成教材を活用して、国税当局担当官他を講師に研修会の開催や資料配付を実施しました。

- ・会社の決算・申告の実務、自主点検チェックシート説明会
- ・新設法人説明会
- ・年末調整事務に関する研修会
- ・交際費課税研修会

開催回数 8回 参加者数 646名

(ロ) 租税教育事業

A 租税教室

日本の未来を担う小学生に税の仕組みや大切さを教える租税教育活動は、極めて重要な活動と言えます。

鳥取県西部地区16小学校の6年生を対象に、青年部会、東部支部、境港支部の役員及び会員が講師を担当し、実施しました。

B 税に関する絵はがきコンクールの募集、展示及び表彰

鳥取県西部地区の各小学校6年生を対象に5月13日から7月31日までの間、作品募集のため女性部会の役員、会員の協力により呼びかけたところ、39小学校から1,556点の応募がありました。

9月29日に、米子美術館長、米子税務署長、鳥取県西部県税事務所長、中国税理士会米子支部長へ外部選考委員を依頼し、最終審査会を行いました。作品の展示会を米子しんまち天満屋にて約2週間行い、入賞した15名には各学校で個別表彰いたしました。

さらに、多数応募をされました38の小学校には感謝状及び記念品を贈呈し、優秀作品等を掲載したカレンダーを作成配布しました。

(ハ) 税制改正提言事業

全法連全国大会が10月に高知市で開催されました。そこで採択・確認された「令和8年度税制に関する提言」を地元国会議員をはじめ、米子市、境港市の市長及び市議会議員にその実現への取組みを提言しました。なお、全国大会の大会宣言は当法人会会報第97号に掲載しました。

(ニ) 広報事業

新しい税情報の提供、地域の情報等を取り入れ、皆様に読みやすく、企業の発展に寄与しようと年2回の会報誌を発行しています。

また、会員のほか一般市民にも各種事業の情報提供や国税庁ホームページ等とのリンク設定を行って、より広範囲な情報提供をすることにより正しい税知識の普及、適正かつ公平な申告納税制度の維持発展に寄与してきました。

さらに、公益社団法人としての社会貢献活動の紹介を通じて、「企業の社会的責任への取組み」を訴えより多くの企業に「法人会事業への理解と参加」を求めて活動してきました。

- ・会報「みずどり」8月96号、2月97号 年2回 ・全法連「ほうじん」春夏秋冬新年号 年4回
- ・税金クイズ 会員企業先での配布、QRコードからの応募（クイズ応募数 242枚）
- ・ホームページ、メディアの利用による情報の発信

ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的（地域貢献活動）とする事業（公益目的事業 2）

(イ) 経営支援事業

会員企業の経営支援の一助となるよう、講演会2回、企業視察研修会を実施しました。

- 講演会 ・井上 和彦氏「マスコミが報じない安全保障の驚くべき実態」
- ・門田 隆将氏「歴史の岐路に立つ日本 ～私たちは今、何をすべきか～」

開催回数 合計2回 参加者数241名

企業視察研修会 大阪・関西万博企業パビリオン 参加者数 21名

(ロ) 社会貢献事業

企業の社会的責任への取組みや地域社会との共生を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の皆様とともに取り組みました。

A 古タオルの回収及び施設への寄贈(タオル類段ボール58箱寄贈)

会員企業をはじめ皆様方のご協力のもとに、古タオル類の回収を行い施設に寄贈しました。

介護老人保健施設「はまかぜ」、障がい者支援施設「光洋の里」

B 米子税務署管内自治体が推進する環境整備事業への協賛事業の実施

地域の環境整備を目的とし、米子城跡、境港市にリサイクルベンチ各4基を寄贈しました。

C 被災地等復興支援の募金活動

チャリティーゴルフコンペで集めた募金を「鳥取県令和5年台風第7号災害復旧・復興支援」として寄付をしました。賞品については東日本大震災の復興支援を目的として被災地から調達しました。

(2) 会員の福利厚生や会員支援に関する事業 (共益事業)

イ 福利厚生事業

会員の福利厚生に資することと、法人会財政の基盤確立に重要な事業である各種福利厚生制度の普及、推進を提携保険会社(大同生命保険、AIG損害保険及びアフラック生命保険)とともに取り組みました。

ロ 会員支援事業

多種多様な企業の団体という法人会の特色を生かし、会員相互の交流の輪を広げることが重要です。

総会時懇親会、青年部会・女性部会交流会等にて親睦を図るとともに、会員支援に寄与する情報提供に努めました。

ハ 会員増強及び組織充実の活動

会員数の拡充は、組織強化のための重要な課題であり、新規会員獲得と退会防止に努め、法人会活動の活性化や事業の拡充に繋げていく必要があります。コロナ禍以降、脱会要請は続いておりますが、会員様、金融機関様、提携保険会社様等に会員増強のご協力をいただき、7年度は43社に入会いただきました。

令和8年3月31日現在 1,821社(前年1,849社) 前年比 △28社(加入43社 退会71社)

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会活性化には地元に着目した法人会という支部活動が重要であり、各支部地域の活性化を目指しています。また、租税教室での講師参加や税務研修等を行いました。

支部別会員状況

令和8年3月31日現在

支 部	期 首 会 員 数	令 和 7 年 度		現 在 会 員 数
		加 入	退 会	
米 子	1,356	36	55	1,337
境 港	297	3	9	291
東 部	125	2	2	125
日 野	71	2	5	68
合 計	1,849	43	71	1,821

ロ 青年部会・女性部会

青年部会は会員企業の経営者及び法人会役員の後継者育成の場であるとともに、法人会活動推進の担い手として大きな役割を有しています。

女性部会は会員企業の女性経営者や幹部の自己啓発の場であるとともに、多様化する法人会活動の充実と活性化に努めてまいりました。

これらの部会は、小学生を対象とした租税教室、税に関する絵はがきコンクールなど、法人会活動の主要テーマである税の啓発・普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体として、その役割を果たしてまいりました。

(4) 適時・的確な運営体制の充実を図るための取り組み

理事会を中心に適時、的確な委員会等の開催による組織運営とともに、事務運営において法令の遵守、相互監査による適正な処理に努めてまいりました。

また、外部監事の選任にあたっては、元金融機関職員で監査部門、事務規範制定等の業務に従事し、退任後も協同組合の監査役を務めるなど、より実践的で当法人会のガバナンス強化に資する人物を選任しました。外部監事に対しては適時面談を行うほか、会報誌等を供するなど情報の共有にも努めています。